



5月17日(月)読売

2学期始まる！

それぞれの目標に向かって充実した4ヶ月を過ごそう！

長い夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。残念ながら、コロナウイルス感染防止対策のため9/10(金)までは分散登校となり、進学早朝補習も9/14(火)開始となりました。

2学期は、部活動に加え学校行事も多く忙しい学期ですが学力充実のためにもとても大切な期間です。下記に各学年ごとの今学期の目標を書いています。進路目標達成に向け、今何をすべきか、明確な目標を掲げて学習に取り組んでください。

全学年共通目標

定期考査(中間9月、期末11月)に全力で取り組む！

- (3年生)・9/11(土)進学模試(国、英、数)に全力で取り組む！
・いよいよ受験本番です。最後まで100%の努力をしましょう。
- (2年生)・9/11(土)進学模試(国、英、数)に全力で取り組む！
・2学期の頑張りは受験の大きな原動力になります。模試、補習に全力で取り組みましょう。
- (1年生)・早朝補習が開始されます。この補習で進学に必要な学力をしっかりとつけられるよう最後まで頑張りましょう！

長崎大学入試説明会および県内工業高校出身者による講演会を実施しました！

8月27日(金)14:00~15:30 オンライン形式



2, 3年生希望者を対象に長崎大学の入試説明会と県内工業高校出身者による講演会を実施しました。長崎大学を志望する3年生と国公立大学を志望する2年生合計11名、保護者4名が参加して、前半は長崎大学工学部入試委員長の先生による入試説明会、後半は本校OB1名を含む県内工業高校出身者(長崎大学生)による講演会を熱心に聞きました。

後半の講演会では、本校3年生が長崎大学生に熱心に質問する光景が見られました。

(参加した生徒の感想)

- ・今回の説明会、交流会を通してさらに長崎大学へ進学したいという気持ちが強くなりました。工業高校出身の先輩方全員が基礎学力に不安があったと言われていたので、今のうちから英語、物理、数学に特に力を入れて頑張っていきたいです。面接の際に面接官と普通に会話できるように落ち着いて取り組むことが必要だと強く思いました。面接練習を多くして少しでも自信をつけて入試本番に挑みたいと思います。(3年生電子機械科)

(参加した保護者の感想)

- ・3回目の進学希望者説明会の参加でした。複雑なシステムで選抜要項のパンフレットだけでは分かりにくい内容も、今回3回目の説明ですいぶん理解できました。目標に向けて大学側と学生(OB)側からの話を聞いたのはとても参考になりました。保護者も出来るだけ参加した方がより安心できると思いました。

国家公務員来たれ理系

人事院は、理系の大学生や大学院生を対象にした国家公務員の採用イベントを今秋、初めて開催する。理系の学生は文系に比べて民間志向が強く、技術系公務員の仕事を知らずとも、このことで人材の確保につなげてほしい。

人事院

主な対象は、就職活動が本格化する前の大学3年と修士1年で、工学部や理学部などに在籍する学生。インフラ整備などの土木工事現場やIT関係の技術職が働く職場を訪問し、業務内容を体感してもらう予定だ。

初の採用イベントへ

9月に発足するデジタル庁や、国家公務員総合職で2023年春の採用から新設される「デジタル」区分に関する説明にも力を入れる。人事院によると、昨年度は国家公務員総合職試験に申し込んだ理系学生は4174人で、申込者全体の約20%だった。現在の試験制度になった12年度は約25%で、割合は年々減っている。

長崎大学との高大連携事業クラスラボ(出前講義)を実施しました!

8月26日(木) 10:50~12:20 オンライン形式

長崎大学工学部工学科の3名の先生方による高大連携事業クラスラボ(出前講義、入試説明)を実施しました。参加した進学希望の生徒達は、3つのコースに分かれ長崎大学の先生方による講義と入試内容の説明に熱心に耳を傾けていました。



(講義の概要)

① 中野 正基 教授(電気電子工学コース)『磁石は地球を救う!』

- ・超伝導やモーターの材料に使用される永久磁石が環境にやさしいこと、磁石開発の歴史、磁石に関する最近の話題などについて実験や動画を用いて説明されました。

(参加した生徒の感想文)

- ・液体窒素を使った実験では、磁石を液体窒素に入れることにより磁石どうしが反発しあって浮いていたのがすごかったです。永久磁石は環境に良いということ、普段から使っている磁石にはFe, Ni, Coのどれかが含まれているということを知りました。この講義で磁石の話を知ることが良かったです。また、こういう講義があれば聞きたいです。(2年生電子機械科)

② 中原 浩之 教授(構造工学コース)『耐震補強について』

- ・西表島(離島)での耐震補強法の確立を図り、学校や公民館など避難所になる場所の補強をすることを目的とした短時間、低コストでできる耐震補強法の実用化に向けた研究についての話がありました。

(参加した生徒の感想文)

- ・今日の出前講義で一番印象に残ったのは完全に壊れない物はないということです。また、構造工学は建築・土木だけではなく機械の分野も必要だと知りました。進路も大学院や建築・土木・機械だけでなく航空・造船など幅広い選択ができ、2級建築士や修習技術者、更に施工管理技士等の資格取得ができることも長崎大学の大きな魅力だと感じました。もう一つ私が驚いたのが英語(TOEIC)に力を入れているということです。今日の講義の資料や用語の意味を知るには英語も必要だと感じました。その他にも、今、免震が広まっていく中で三十三間堂の技術は素晴らしいと思いました。もっと色々な建築物の構造や工夫を知りたいと思いました。(3年生建築科)

③ 下本 陽一 准教授(機械工学コース)『機械と人間、機械と環境』

- ・工学部には人を幸せにすることを目指した『機械と人間』、地球にやさしくすることを目指した『機械と環境』の2本の柱がある。専門分野(機械)では、機械を制御するためには、応用数学の知識が必要であることを説明されました。

(参加した生徒の感想文)

- ・今日の出前講義を通してさらに長崎大学について興味が湧きました。「ホウキを手に乗せて遊ぶ」という動きをロボットを制御することで表現されていたのにとっても驚きました。研究で大切になってくるのは能力と根気だと教えていただいたので今のうちから沢山のことに挑戦し、最後まで諦めない訓練をしておこうと思います。技術の発展だけでなく環境についても考えて研究されていて今後の日本や世界にとって大切になってくる考え方だと思いました。(3年生電子機械科)

今後の予定(進学関係行事)

(9月)

11(土) 2, 3年生進学模試(国・英・数)

14(火) 1, 2, 3年生早朝補習開始

30(木) 中間考査(~10/1(金))

総合型選抜入試出願始まる!

4年制大学および専門学校の総合型選抜入試(旧AO入試)の出願が始まります。3年生の皆さんがこれまで頑張ってきた成果を十分発揮し、合格の栄冠を勝ち取ってくれることを祈念します。

